

2020 年度実施概要

学校名

姫路市立坊勢中学校

採択活動名

総合的な学習、理科

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 自分たちで守ろう！ ふるさと坊勢の自然と環境	全学年	総合、理科
2.		
3.		

取り組みの概要

中学3年間を通して、持続可能な開発目標（SDGs）の「14海の豊かさを守ろう」を軸に、坊勢島の自然や環境、文化、産業を学ぶ単元開発の取り組みを行い、坊勢中学校の特色ある教育活動として、『海に親しむ・海を知る・海を守る・海を利用する』の海洋教育を位置づけた活動の推進を行って来た。一方で、2度の新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言や拡大防止のための活動制限により、美化活動、食文化（地産物の調理体験）、外部講師による講演招致などは実施困難と判断せざるを得ず、総時間数は当初の計画の6割程度に留め、次年度へ引継ぎ・展望として残す形となった。年間を通して、追加・代替案も模索しながら、実施した活動は以下の通りである。

- 【第1学年】
- ・漁業体験活動を通して、坊勢島の産業である漁業や漁師について学ぶ。
 - ・きれいで豊かな海を目指す坊勢漁業協同組合の活動（海ごみ回収や畜養など）を学ぶ。
 - ・せきつい動物、軟体動物（貝類）の解剖実習及び胃の遺留物の観察
 - ・鳥ヶ内海岸の砂浜における漂着ゴミ、マイクロプラスチック回収調査（基本調査）
- 【第2学年】
- ・せきつい動物、軟体動物（貝類）の解剖実習及び胃の遺留物の観察
 - ・鳥ヶ内海岸の砂浜における漂着ゴミ、マイクロプラスチック回収調査（基本調査）
- 【第3学年】
- ・地球の環境問題や持続可能な開発目標（SDGs）について考える。
 - ・環境調査（海の透明度、栄養塩）と水産資源の関係について考える。
- 【各教科】
- ・現行指導要領に準ずる令和2年度教科書の学習内容と海洋教育に関連付けられる部分を整理し、SDGsや地域教材を積極的に絡めるなど、海洋教育を意識した小さな取り組みを別途試みた。
 - 例) 数学科「イカナゴ漁獲量の減少を近似曲線で予測する。」
 - 家庭科「持続可能な開発目標とは（SDGs）を考える。」
 - 英語科「環境問題」
 - など

活動中の写真

デジタルデータにて2～3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)



マイクロプラスチック調査



魚類、軟体動物の解剖実習



海洋調査（海の透明度調査）